

静岡県福祉サービス第三者評価の結果

◎ 評価機関

名 称	社会福祉法人静岡県社会福祉協議会
所 在 地	静岡市葵区駿府町1-70
評価実施期間	21年11月25日~22年3月1日
評価調査者番号	① H17-a013
	② H16-b002
	③

1 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

事業所名称： (施設名) 富士保育園	種別： 保育所
代表者氏名： (管理者) 後藤 弘明	開設年月日 昭和32年4月1日
設置主体：社会福祉法人 富士育英福祉会 経営主体：社会福祉法人 富士育英福祉会	定員 150人 (利用人数) 167人
所在地：〒416-0911 富士市八幡町3-4	
連絡先電話番号： 0545-61-0064	FAX番号 0545-61-0071
ホームページアドレス	http://triton.dataeast.jp/~fuji-h/

(2) 基本情報

サービス内容 (事業内容)	施設の主な行事
一般保育 乳児保育 延長保育 障害児保育 子育て支援センター	入園式、健康診断、歯科検診、保育参観、防災訓練、生活発表会、運動会、マラソン大会、サッカー交流会、遠足、雛祭り、卒園式
居 室 概 要	居室以外の施設設備の概要
保育室 9 調乳室 沐浴室	遊戯室。子育て支援センター室、調理室、事務室、園長室、医務コーナー、屋上プール、雨天広場、防災倉庫、ブランコ等遊具、砂場、

職員の配置

職 種	人 数	職 種	人 数
園長	1	看護師	1
主任保育士	1	栄養士	1
保育士	21	調理員	2
保育士 (非常勤)	4	事務員	1

2 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◆ 特に評価の高い点

- ・全館床暖房が施され園舎もやさしい色づかいであり、保育室もゆとりを感じ、心理的に過ごることができる環境を整備しています。
- ・子育て支援センター、障害児保育に積極的に取り組み、地域の行事に参加し、社会とのかかわりを大切にしています。
- ・利用者の安全確保のため各種マニュアルを整備し、事故防止に取り組んでいます。
- ・子どもが自然や社会との関わりを持てるよう体験の機会を工夫し、ファミリーという呼称で異年齢保育を実施しグループでの共同制作や活動を行うことを通して、人間関係や社会性が育つよう配慮しています。
- ・食事メニューは日々の記録やアンケート等から満足していることがうかがえます。

◆ 特に改善を求められる点

- ・中長期計画をより実効あるものにするために、具体的な取り組み内容を検討し年次的実施計画を策定することが求められます。
- ・計画等の評価・見直しの方法を文書化し、実施した検討内容の記録等を書面化することが求められます。
- ・職員間ので共有化を図りなお一層の質の向上をはかるために、保育場面ごとに支援する方法についてのマニュアルを整備されることが求められます。
- ・実習生やボランティアの受け入れについて、受け入れに関する手順等を定めたマニュアルの整備が求められます。

3 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、第三者評価を受審してみて、保育の質を確保する為には、具体的な方法や基準など、全職員が共通理解できるものが必要であり、これからの職員養成の上でもマニュアルの整備は必要だと改めて感じたことである。また、利用者である保護者の率直な感想や意見などは今後の園運営に大変参考となるものであり、改善できることからすぐに対応したものもあり、園としての保育サービスの質の向上を園全体として取り組む必要性を全職員が理解してくれたことは大きな財産となった気がします。

4 評価分類別評価内容

<p>評価対象Ⅰ</p> <p>1 理念・基本方針</p>	<p>*理念や基本方針は入園のしおりや経営書等に明文化され、職員等に周知されている。</p>
<p>2 計画の策定</p>	<p>*法人の中長期計画が作成されているが、具体的な取り組みを示す年次計画は作られていない。 *事業計画は、職員会議等で検討し策定している。</p>
<p>3 管理者の責任とリーダーシップ</p>	<p>*管理規程に職制や職務分掌が定められ、それに基づく役割や責任を明確にし職員等に表明している。 *質の向上や効率化に向けての取り組みに指導力を発揮している。</p>
<p>評価対象Ⅱ</p> <p>1 経営状況の把握</p>	<p>*経営状況を取り巻く情報を把握し、中長期計画にも反映している。 *税理士の指導を受けているが、外部監査は実施していない。</p>
<p>2 人材の確保・養成</p>	<p>*職務分担表や職員担当表が作成され役割等が明確になっている。 *職員自己評価チェックや職員意向調査を行っているが、客観的な基準に基づいた人事考課は行われていない。 *職員の就業状況を定期的に把握し、職員との個別面接を行い意見や意向を取り入れる取り組みを行っている。 *職員研修は一人年2回以上外部研修に参加させることを基本に取り組んでいるが、職員一人ひとりの状況を把握分析した研修計画の作成は十分ではない。 *実習生の受け入れについては積極的に取り組んでいるが、受け入れに関する手順等の整備が十分ではない。</p>
<p>3 安全管理</p>	<p>*利用者の安全確保のための緊急時の対応等は、マニュアルを整備し、職員に周知のうえ的確に対応している。 *事故やヒヤリハット事例を分析し事故防止に向けた取り組みを実施している。</p>
<p>4 地域との交流と連携</p>	<p>*家庭や地域との連携を密にし、園児が地域との交流を図る機会を大切にしている。 *地域の人との交流や施設への理解を深めるボランティアの受け入れについては積極的に取り組んでいるが、受け入れに関するマニュアルが整備されていない。 *地域の福祉ニーズを把握し、ニーズに沿った活動や事業を実施している。</p>

<p>評価対象Ⅲ</p> <p>1 利用者本位の福祉サービス</p>	<p>*子どもや保護者に対し、理解を深め尊重する姿勢を明示している。</p> <p>*家庭への食事に対する支援や情報提供を行い、食育に配慮した質の向上に努めている。</p> <p>*保護者と共通理解を得るために懇談会や保育参観等で意見を述べやすい機会を設け対応しているが、意見等に対する対応マニュアルの整備が十分ではない。</p>
<p>2 サービスの質の確保</p>	<p>*保育サービスの質の向上に向けて評価を行う体制はあるが、課題に対して改善計画を立てて実施するまでには至っていない。</p> <p>*健康管理面においては、医師の指示のもと適切に対応している。</p> <p>*生活・遊びでは運動面の充実に力を注ぎ、異年齢保育では人間関係が育つよう発達の特性を考慮している。</p> <p>*特別保育(乳児・障害児・子育て支援)では、それぞれの支援方法に配慮が見られる。</p>
<p>3 サービスの開始、継続</p>	<p>*保育サービスの利用希望者に対して、ホームページを公開しており、サービスの開始時には説明と同意を得ている。</p> <p>*サービスの継続性に関しては相談できる担当者を決め、健康手帳にて行っているが、引き継ぎに関する手順等の定めが十分ではない。</p>
<p>4 サービス実施計画の策定</p>	<p>*入園時に定められた書類でアセスメントを実施しており、課題は把握しているが、明示、対応、記録等については十分ではない。</p> <p>*保育計画・指導計画は、保護者の意向を考慮したり、関係職員のもとで適切に策定している。</p> <p>*保育サービスの場面において(沐浴、清拭等)支援が必要と思われる場合は努めて実施しているが、結果を踏まえた具体的な支援方法の明示が十分ではない。</p>

5 評価細目の第三者評価結果

注：評価結果については、判断基準に基づいて評価した結果を3段階（A、B、C）で評価細目ごとに表す。

なお、表には評価項目の番号や評価細目の基準内容を明記し、評価分類ごとに区分する。

5 評価細目の第三者評価結果〔保育所〕

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
	① 理念が明文化されている。	A
	② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A
	② 理念や基本方針が利用者等に周知している。	A

I-2 計画の策定

		第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
	① 中・長期計画が策定されている。	A
	② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	C
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。		
	① 計画の策定が組織的に行われている。	A
	② 計画が職員や利用者等に周知されている。	B

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A
	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A
	② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A
	② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	A
	③ 外部による評価・監査が実施され経営改善に取り組んでいる。	C

Ⅱ-2 人材の確保・養成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
①	保育所内の組織について職制・職務分掌を明確にしている。	A
②	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	C
③	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A
②	職員に対する福利厚生事業が積極的に行われている。	A
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B
②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B
③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
①	実習生の受け入れに関する基本的な姿勢を明確にし、体制を整備している。	B
②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A

Ⅱ-3 安全管理

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 子どもの安全を確保するための取り組みが行われている。		
①	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A
②	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	A
③	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	A
④	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	A
⑤	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	A
⑥	発生した事故を把握している。	A
⑦	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	A
⑧	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A
⑨	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	A

Ⅱ-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
①	小学校との間で、小学生と園児が交流機会を設け、職員間の話し合いや研修等の連携の機会をもっている。	A
②	利用者と地域とのかかわりを広げる働きかけを大切にしている。	A
③	施設が有する機能を地域に還元している。	A
④	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	C
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
①	必要な社会資源を明確にしている。	B
②	関係機関等との連携が適切に行われている。	A
③	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに施設長まで届く体制になっている。	C
④	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行なう体制が整っている。	C
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
①	地域の福祉ニーズを把握している。	A
②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
①	職員が子どもに対する不適切な関わりを行わないようその防止と早期発見に取り組んでいる。	A
②	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	A
③	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	B
④	子どもや保護者等を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行なっている。	A
⑤	子どもや保護者等のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	A
②	利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A
③	子どもの嗜好の把握に努め、家庭への食事に対する支援や情報提供など、食育に配慮している。	A
④	子どもの嗜好に応じたメニューの提供や、子どもが食事を楽しむことができるような工夫をしている。	A
⑤	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	A
⑥	沐浴・清拭時の快適性に配慮した設備上の工夫がなされている。	B

	⑦ 排泄時の快適性に配慮した設備上の工夫がなされている。	B
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	① 施設等の運営に関して保護者等の意見を聞くための取り組みを行っている。	A
	② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A
	③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B
	④ 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	B
	⑤ 相談援助の困難な場合について対処方法がルール化されている。	B
	⑥ 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面接などを行なっている。	A
	⑦ 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A
	⑧ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	A

Ⅲ-2 サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
	① 保育サービス等について定期的に評価を行う体制を整備している。	A
	② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B
	③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	B
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
	① 園児一人ひとりの保育について配慮された指導計画が作られている。組織における個々の保育についての標準的な実施方法が定められている。	B
	② 登降園時や保育中の子どもへの対応の標準的なマニュアル等が整備され、定期的な見直しが行われている。	C
Ⅲ-2-(3) 生活環境が適切に整備されている		
	① 保育室の採光、換気、温湿度、清潔な子どもの生活空間への配慮がなされている。	A
	② 子どもが落ち着けたりくつろげたりするための工夫がなされている。	A
Ⅲ-2-(4) 保育内容が様々な子どもの発達の特性を考慮して展開されている。		
	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	B
	② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
	③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
	④ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	A
	⑤ 身近な自然や社会とかがわれるような取り組みがなされている。	A
	⑥ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	A

	⑦ 絵本、物語などに親しみを持ち、文字、言葉、会話などに興味や関心をもてるような配慮がされている。	A
	⑧ 遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮している。	A
Ⅲ-2-(5) 子どもが自発的に活動できるように遊びの環境が配慮されている。		
	① 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	A
Ⅲ-2-(6) 子どもへの人権、文化の相違、性差等の配慮がされている。		
	① 子どもの人権に十分配慮し、文化の違いを認め尊重する心を育てたり、性別による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないような配慮をしている。	A
Ⅲ-2-(7) 特別な保育への対応や配慮が行われている。		
	① 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
	② 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
	③ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
	④ 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	B
Ⅲ-2-(8) サービス実施の記録が適切に行われている。		
	① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行なわれている。	B
	② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A
	③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

		第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
	② サービスの開始にあたり、利用者等に説明し同意を得ている。	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	① 施設の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
	① 定められた様式・手順に従ってアセスメントを行なっている。	B
	② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	A
	② 課題に対する指導計画が関係職員の連携のもとに作成されている。	B

③	食事（栄養管理を含む）について、アレルギー疾患など支援が必要な子どもに対して個別・具体的な支援方法が明示されている。	A
④	沐浴・清拭について、支援が必要な子どもの指導計画に基づき個別・具体的な支援方法が明示されている。	B
⑤	身だしなみや清潔保持について、具体的な支援方法が明示されている。	B
⑥	子どもや保護者等の心理面に着目した支援を行っている。	B
⑦	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	A
⑧	必要に応じ保護者等への「説明」と「理解」または「同意」に努めている。	B
⑨	子どもや保護者等の情報が保育計画、指導計画の責任者に確実に伝わる仕組みがある。	A
⑩	保育計画・指導計画を適切に策定している。	A
⑪	保育計画・指導計画の評価・見直しを行なっている。	B